

大野町

地震防災マップ



大野町

地震から身を守るために

地震が起きたらどうするか

地震発生

命を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る
- すばやく火の始末
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する



1~3分

家族を守る

- 家族の安全を確認
- 火元を確認・初期消火
- 靴をはく
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意

がけ崩れの危険が
予想される地域は、
とにかくすぐ避難！

5~10分

地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電話はなるべく使わない
- 電気のブレーカーを切る
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する



10分~
数時間

避難生活では

- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る



地震対策10か条

地震から身を守る最大のポイントは、日頃の備え。ケガや火災などの二次災害を引き起こさないためにも、いざという時の行動を覚えておきましょう。

1 まずわが身の安全を図れ

ケガをしたら火の始末や避難がおくれてしまいます。家具の転倒や落下物には十分な対策を。



6 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりには近寄らない

ブロック塀・門柱・自動販売機などは倒れやすいので要注意。



2 すばやく火の始末あわてず、さわがず冷静に

「火を消せ！」とみんなで声をかけ合い、調理器具や暖房器具など火を確実に消す。



7 山崩れ、がけ崩れに注意する

山間部で地震を感じたら、早めの避難態勢を。



3 非常出口を確保する

とくに鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたままだと建物がゆがみ、出入口が開かなくなることがある。



8 避難は徒歩で、荷物は最小限にする

避難場所に徒歩で避難を。車は使わない。



4 火が出たらまず消火を

「火事だ！」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め初期消火に努める。



9 みんなが協力し合って応急救護

お年寄りや身体の不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなで助け合う。



5 外へ逃げるときはあわてずに

外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いた行動を。



10 正しい情報をつかみ、余震に注意する

うわさやデマに振り回されない。テレビやラジオで正しい情報を。



初期消火の3原則

◆早く知らせる！ ◆出火から3分以内が勝負！ ◆天井に火が燃え移ったら早く逃げる！

非常時に備えて

いざというときは、ただちに避難しなければなりません。そんな時に備えて、3日分を目安に、非常持ち出し品を常備しておきましょう。

非常持ち出し品チェックリスト

地震から身を守る最大のポイントは、日頃の備え。急な避難に備えて、3日分を目安に、非常持ち出し品を常備しておきましょう。

●安全対策

- 救急医薬品
- 常備薬の予備
- 防災ずきんや帽子
- 底の厚い靴



- 水／1人1日3Lを目安
- 鍋や水筒(コックヘル)
- 乾パンやクラッカー、缶詰
- ナイフ、缶切り
- レトルト食品
- 粉ミルク、ほ乳びん
※赤ちゃんがいる場合



●貴重品

- 現金
- 預金通帳や有価証券
- 印鑑
- 連絡カードや身分証明



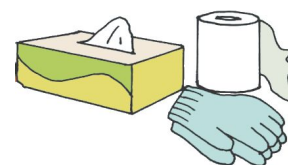
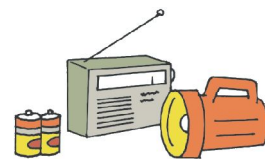
●衣類関係

- 衣類・下着
- 寝袋
- 雨具
- タオル・毛布



●日用品

- 卓上コンロ
- ロープ
- 使い捨てカイロ
- 携帯ラジオ
- 予備の電池
- 筆記用具
- 懐中電灯
- 包装用ラップ
- 大きなゴミ袋
- ヘルメット
- 軍手
- 防塵マスク



※重さの目安は男性で15kg、女性で10kg程度です。

◆あると便利なもの

携帯トイレ、裁縫セット、雨具、ガムテープ、地図、さらし(包帯、おしめ、手ぬぐい、ロープ、風呂敷などにも使えて便利)、筆記用具(マジックなど)、スコップ、文庫本、ノート・教科書(子どもがいる場合など)

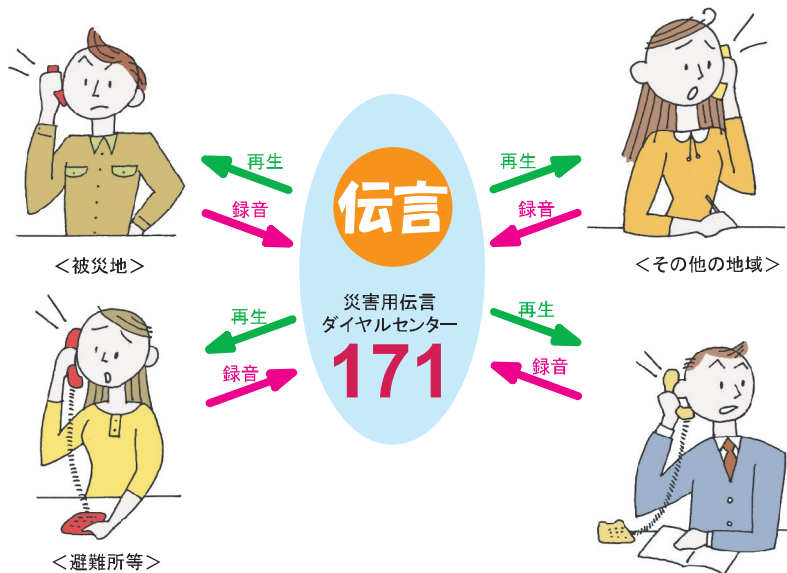
◆阪神大震災ではこんなものが役立った！

10円玉、ドライシャンプー、ボディークレンジング剤、ホイッスル、ポリタンク、ボール、ブルーシート、予備の眼鏡・補聴器、自転車など

災害用伝言ダイヤルの利用方法

171

「災害伝言ダイヤル」は、大規模な災害が発生した場合に開設され、被災地との間で「声の伝言板」の役割を果たす電話サービスです。



サービス開始は、テレビ・ラジオ等で通知されます。
事前の登録などの手続きは一切ありません。
また、毎月1回は体験利用ができます。

忘れてイナイ(171)? と覚えてください!

「171」をダイヤルするとガイダンスが流れます。
利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生をしてください。(※平常時には利用できません)

伝言の録音・再生方法

伝言の録音

171

「171」をダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

1または3

録音する場合は「1」(暗証番号を利用した録音の場合は「3」)をダイヤルする。

被災した家の電話番号

被災者は自宅の電話番号を、被災者以外の方は被災地の電話番号を市外局番からダイヤルする。

伝言を入れる
(30秒以内)

伝言の再生

171

「171」をダイヤルすると、ガイダンスが流れます。

2または4

再生する場合は「2」(暗証番号を利用した再生の場合は「4」)をダイヤルする。

被災した家の電話番号

被災者は自宅の電話番号を、被災者以外の方は被災地の電話番号を市外局番からダイヤルする。

伝言を聞く

今日から始める地震対策 耐震診断・耐震改修のすすめ

家屋の地震対策

阪神・淡路大震災では、なくなられた方の約8割が家屋や家具の下敷きによる圧死であったと言われています。

大規模地震の切迫性が指摘される今、住宅の倒壊を防ぐための対策をしておくことが大切です。耐震診断によって建物の耐震性を調べ、問題があれば専門家に依頼し、補強や改修などの対策をしておきましょう。

◆まずは耐震診断を

町では、「耐震診断」及び「耐震補強工事」を実施する方に対して、その費用の一部を助成します。

<耐震診断>

木造住宅耐震診断と木造以外の建築物耐震診断があります。

<木造住宅耐震補強工事>

木造住宅の耐震補強工事が対象です。



詳しくは、

耐震診断及び耐震補強工事についての問い合わせ先
大野町役場 産業建設部建設水道課

Tel 34-1111 に お問い合わせください。

家の周囲の地震対策

家の周りも日頃から安全に対策をしておきましょう。

屋根

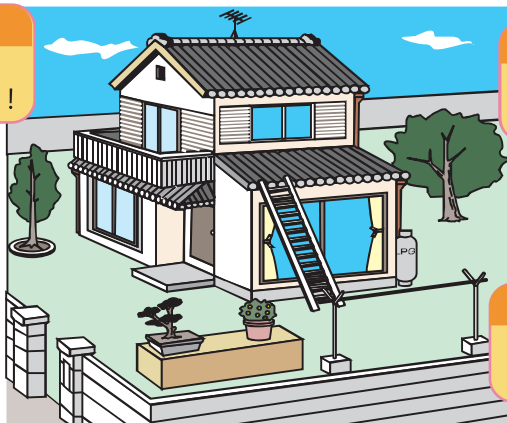
不安定な屋根のアンテナや
屋根瓦は補強しておきましょう！

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を！

ブロック塀・門柱

ブロック塀・門柱はしっかり
点検補強をしておきましょう！



窓ガラス

飛散防止フィルムを
貼りましょう！

プロパンガス

ボンベをしっかり
鎖で固定しておきましょう！

緊急地震速報「利用の心得」

気象庁から、緊急地震速報が提供されます。

緊急地震速報は、見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動をとる必要があります。

1 家庭では

- ・頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる
- ・あわてて外へ飛び出さない

2 エレベーターでは

- ・最寄の階で停止させすぐに降りる

3 自動車運転中は

- ・あわててブレーキをかけない
- ・ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止

4 屋外では

- ・ブロック塀の倒壊等に注意
- ・看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる

5 山やがけ付近では

- ・落石やがけ崩れに注意

6 鉄道・バス乗車中は

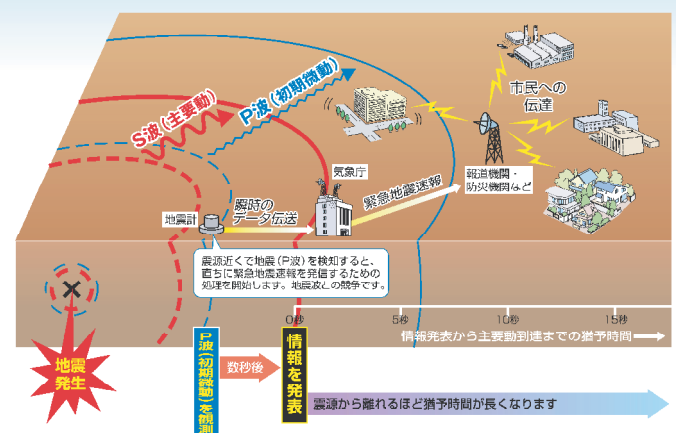
- ・つり革、手すりにしっかりつかまる

7 人が集まる場所では

- ・係員の指示に従う
- ・落ちついて行動
- ・あわてて出口に走り出さない

緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです



出典：「緊急地震速報～10月スタート～」
リーフレット、気象庁

場所によっては、揺れが早く来ることがありますので、普段から地震に対する備えをしておきましょう。

わが家の防災データ

避難場所 自宅から近い避難場所を書きおきましょう。

避難場所の簡単な地図を書きおきましょう。

集合場所 家族が離れ離れになったときの集合場所を決めておきましょう。

持ち出し品 非常持ち出し品の置き場所を書きおきましょう。

連絡先 家族の連絡先を書きこんでおきましょう。

氏名	生年月日	血液型	会社や学校の連絡先

防災関係機関

機関名	電話
警察(緊急)	110
消防(火災・救急)	119
大野交番	32-0002
揖斐郡消防組合消防本部	32-0119

機関名	電話
大野町役場	34-1111
病院	
電気会社	
水道	34-1111